証券コード：9942

Restaurant Joyfull

第52期通期事業報告書

2025年7月1日～2026年6月30日



株主の皆様へ

**株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、ここに第52期（2026年6月期）の通期事業報告書を作成いたしましたので、
ご高覧いただきますようよろしくお願い申し上げます。**

日頃より当社グループの事業活動にご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費において持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復傾向にありますが、エネルギー価格や原材料価格の高騰、為替相場における円安の長期化、中東情勢による地政学リスクや米国の通商政策による影響などの不安定な国際情勢により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食業界においては、個人消費やインバウンド消費は増加傾向にありますが、昨今の米の価格の高騰や、エネルギー価格、人件費、原材料価格の上昇など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは今後の中長期的な成長戦略を実現するため、既存のイートイン事業はもちろんのこと、テイクアウトやデリバリー販売、量販店や通販サイトを通じた販売の強化、社員独立フランチャイズ店舗の拡大など子会社を含めたグループ全体のパフォーマンス向上に取り組んでまいりました。

商品施策では、既存商品のブラッシュアップを継続して提供品質の向上を進めると同時に、試験販売を繰り返してお客様の消費動向を慎重に分析した上で、グランドメニューの改定を2回、「創業祭」「ごちそうサマー」などのフェアを5回行いました。

グランドメニューの改定では、肉厚&ジューシーで食べ応え満点の「肉旨!厚切り豚肩ロースステーキにんにく醤油」や、出汁にこだわった正統派そばが味わえる「野菜かき揚げのぶっかけおろしそばと釜揚げしらす丼」をはじめ、健康意識の高まりから「カラダはぐくむ!薄切りビーフとミックスビーンズのパワーサラダ&アサイーヨーグルト」、また食後はもちろんカフェタイムの一品としてもおすすめのデザートメニューも揃えました。創業祭では、50周年の創業祭にふさわしいこだわりの一品「十勝若牛100%トリプルハンバーグ」、創業当時の味をアレンジしたボリューミーな「創業思い出の厚切り牛鉄板焼肉定食」、グリルメニュー・セットメニュー・デザートメニューからそれぞれ1品ずつ選べる「創業祭選べる得々セット」など、創業祭ならではの特別メニューをご用意しました。

さらに、7月には前期にご好評いただいたPEANUTSとのコラボレーションメニューを販売したほか、12月には人気アニメ「ONE PIECE」とのコラボレーションを2回にわたり行い、「ルフィのドン!!と山盛り肉々グリル&麦わらオムライス」「チョッパーの桜舞うホットケーキプレート」などの商品を販売し、3月からは劇場版アニメ映画「転生したらスライムだった件 蒼海の涙編」とのコラボキャンペーンを開催しました。4月からはTVアニメ「呪術廻戦第3期『死滅回游編』」とのコラボキャンペーンを第1弾、第2弾の期間に分けて行い、「虎杖悠仁の『黒閃』3連撃コンボ」をはじめとしたコラボレーションメニューを販売しました。

営業施策では、重点的な取り組みとして、料理のクオリティー維持・向上及び料理の提供時間の安定を目的にチェックシートを活用してひとつひとつの作業の徹底を行い、良い品質で、見た目にもきれいで、鮮度の良いおいしい料理を安定的に提供できるように努めてまいりました。

また、販売促進として、各種コラボレーションTVCMやジョイフル宣伝部長の秋山竜次さん（ロバート）が出演し、春の新グランドメニューを紹介する新TVCMを放映しました。3月には大好評いただいている今期2回目となる一般のお客様やマスコミを対象とした新商品試食会&福岡工場見学ツアーの体験イベントを開催し、世界にひとつだけのオリジナルパフェ作りや、製造・配送の様子を見ることができる工場見学を行いました。さらに、子育て世帯に向けた「キッズ半額キャンペーン」を3回実施しました。また、客席でお好きなタイミングで従業員を介さずに会計ができるテーブル決済を一部フランチャイズ店舗を除くジョイフル全店に導入し、更なるお客様の利便性の向上を図っております。

店舗展開につきましては、12月にはジョイフル初となるフードコートへの出店として「JOYFULL EXPRESS アミュプラザおおいた店」、3月には郊外型カフェ「並木街珈琲大分別府店」、中華麺業態「麺屋いろどり」を出店いたしました。

以上の結果、当連結会計年度における店舗数は、グループ直営店15店舗の出店、グループ直営店3店舗及びフランチャイズ2店舗の退店により671店舗となりました。また、グループ直営からフランチャイズへ82店舗転換、フランチャイズからグループ直営へ2店舗転換を行ったことにより、グループ直営388店舗、フランチャイズ283店舗となりました。

当連結会計年度における経営成績は、売上高は72,726百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は4,610百万円（前年同期比43.9%増）、経常利益は4,730百万円（前年同期比47.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は3,193百万円（前年同期比38.9%増）となりました。

なお経営指標としている「総資本経常利益率」「売上高経常利益率」「労働生産性」及び「株主資本当期純利益率」の数値改善のため、より一層の経営努力に努めてまいります。



代表取締役社長
穴見くるみ

私たちのパーパス

ジョイフルは50周年という節目を機に、事業活動の指針となるパーパスを策定しました。
これからも地域に寄り添い、お客様の毎日に喜びをお届けしていくために。
私たちの存在意義と使命、目指す未来、そして一人ひとりが大切にする行動をここに掲げます。

私たちの存在意義
PURPOSE

「地域の食卓」として、一人ひとりの毎日に、喜びを灯し続ける。

私たちの使命
MISSION

変わらぬおいしさと安心を、地域に届け続ける。

私たちの目指す未来
VISION

Joy to the Local!
「ジョイフルがあるまち」を「ジョイフルなまち」へ。

私たちの行動指針
VALUES

すべては、お客様の笑顔のために。

昨日より、 今日を楽しくする挑戦を。	基本を守り、 いつもの味、いつもの笑顔を お客様へ。	お客様の幸せ、仲間の幸せを、 自分の喜びに。







Thank Full!! 50 50th Anniversary

おかげさまで、50周年。

1976年の会社設立から50年。
大分県大分市にオープンしたジョイフル1号店から始まり、
地域の皆様に支えられながら、全国へと店舗を広げてきました。
これまでのご愛顧に感謝を込めて、
ジョイフルの50年の歩みをご紹介します。

1976
株式会社焼肉園を設立



1979
大分県大分市にジョイフル1号店
オープン(萩原店)



1980
株式会社ジョイフルに
商号変更

1989
本社及び大分工場を大分市に
新設移転



1993
福岡証券取引所に株式を上場



1996
熊本工場、配送センター新設

1999
愛知工場新設

2002
ドリンクバー導入



2005
子会社
「株式会社ジョイフルサービス」
を設立

2007
ドリンクバー「Joy café」
全店導入



2016
海外子会社
「台湾珍有福餐飲股份有限公司」
を設立

2018
「株式会社キッチンジロー」
「株式会社フレンドリー」
を子会社化

2018
福岡工場、配送センターを
新設



2019
福岡県に
ジョイフルカレッジ新設



2019
「ジョイフル公式アプリ」
サービス開始



2020
テイクアウト
&デリバリー
販売開始

2021
ジョイフル
オンラインショップ
オープン

2022
社員独立
フランチャイズ制度を開始

2022
子会社「株式会社ジョイナス」
を設立

2023
「株式会社キッチンジロー」
を吸収合併

2024
店内QRオーダーシステム全店導入

2026
ジョイフル
創業50周年







2023
子会社
「株式会社ジョイフル商事」を設立

2023
外販商品を
新ブランド「おうち de ジョイフル」
にリニューアル



2023
ジョイフル初のアニメコラボ
「進撃の巨人」コラボ実施






※商品イメージ写真（販売終了および実際に店舗で提供される盛付けとは異なる場合がございます）

2026年6月期　主な取り組み

50周年を機に新たにパーパスを策定し、ブランド価値向上に向けた取り組みを推進

2026年5月、創業50周年という節目を機に策定した新たなパーパスを広く発信するため、「パーパス策定記念発表会」を開催しました。

発表会では、新たなパーパス「『地域の食卓』として、一人ひとりの毎日に、喜びを灯し続ける。」に込めた想いや、ジョイフルがこれから目指していく姿を紹介するとともに、50周年ロゴや新ユニフォームを発表しました。

また、大分県出身の俳優・楽駆（らいく）さんや、ダンス集団「アバンギャルディ」によるパフォーマンスも行われ、50周年という節目とジョイフルの新たなスタートを発信する機会となりました。



2026年3月より、劇場版アニメ『転生したらスライムだった件　蒼海の涙編』とのコラボキャンペーンを実施しました。

作品の世界観やキャラクターをイメージしたコラボメニューの販売をはじめ、対象メニューの注文でもらえるオリジナルグッズや、ジョイフル公式アプリを活用した来店企画、SNSでのプレゼントキャンペーンなど、さまざまな企画を展開しました。

店舗での食事に加えて、アプリやSNSなどさまざまな接点を通じて作品の世界観を楽しんでいただける企画とし、幅広いお客様にジョイフルをご利用いただく機会の創出に取り組みました。



©芥見下々／集英社・呪術廻戦制作委員会

2026年5月、公式ホームページを全面リニューアルしました。

今回のリニューアルでは、「店舗情報サイト」「企業サイト」「採用サイト」の3サイトを刷新し、目的に応じて必要な情報をより分かりやすくご覧いただける構成としました。

今後も、商品・サービスや企業としての取り組みなど、ジョイフルのさまざまな情報を分かりやすく発信し、内容の充実を図ってまいります。



社員独立フランチャイズ制度の広がり

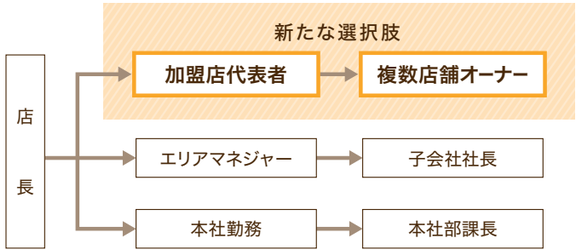
ジョイフルでは勤務する社員の新たな働き方の一つとして、自身が積み重ねた店舗経営ノウハウを活かして、希望地域で加盟店代表者として独立することができる社員独立フランチャイズ制度を2022年８月より開始いたしました。2026年６月30日現在で、159名（241店舗）が加盟店代表者として独立・開業しております。

社員独立フランチャイズ制度を実施することで、加盟店代表者から本部にロイヤリティが支払われ、本部の安定的な経営が実現できるとともに、加盟店代表者は今までの店舗経営を活かしつつ、転勤のない希望地域で開業することが可能となります。また、もともと営業している店舗を使って開業を行うことで、精度の高い事業計画と本部からの全面バックアップのもとに営業に注力することができます。

今後約５年で当社店舗の約70％のフランチャイズ化を目指し、『店舗・本部の収益アップ＝加盟店代表者の収入アップ』を達成するという、新たな働き方の実現を進めてまいります。



■社員の働き方イメージ



フランチャイズシステムとは

フランチャイズとは、フランチャイズに加盟する人（加盟店代表者）がフランチャイズ本部（ジョイフル）から店舗・サービス・商品などを使う権利を得て、店舗の経営・運営を行うものです。

- 加盟店代表者と本部がビジネスパートナーとして一体となり、共同で収益を上げることで、双方に利益がある関係を築きます。
- 加盟店代表者は本部の全面バックアップを受け、収益向上に専念できることで収益の一部をロイヤリティとして本部に支払っていただくビジネスモデルとなります。






※商品イメージ写真（実際に店舗で提供される盛付けとは異なる場合がございます）

2027年6月期　上期の主な取り組み

2つの新スタイル店舗や地域との連携を通じて、お客様との接点をさらに拡大

2026年9月、ショッピングセンター等のフードコートに特化した新スタイル店舗「JOYFULL　EXPRESS（ジョイフル　エクスプレス）」を四国で初めて出店しました。

「JOYFULL EXPRESS」は、ジョイフルの人気メニューをフードコートでも気軽にお楽しみいただけるセルフサービススタイルの店舗です。また、ショッピングセンター内で展開する専門店スタイルの「Joyfull　kitchen（ジョイフルキッチン）」も展開しています。今後も立地やお客様の利用シーンに合わせた店舗展開を進め、より多くのお客様との接点拡大に取り組んでまいります。

2026年7月より、大人気アニメ「鬼滅の刃」とのコラボキャンペーンを実施しました。

過去のコラボにおいては累計販売数が100万食を突破するなど、多くのお客様にご好評をいただきました。

今回も作品の世界観をイメージした限定メニューをはじめ、オリジナルノベルティやSNS企画などを展開し、ジョイフルならではの食の楽しさと新たな体験価値の提供に取り組みました。



© 吾峠呼世晴／集英社・アニプレックス・ufotable

2026年8月、大分県中津市で開催された「防災テックフェスタ」に出店し、災害時の食をテーマとした「備蓄米メニュー」を販売しました。

地域の皆様にジョイフルの食を楽しんでいただくとともに、食を通じて防災について考えていただく機会を提供しました。

今後も「地域の食卓」として、地域社会とのつながりを大切にしながら、地域に根差した取り組みを進めてまいります。



SDGsへの取り組み－食の楽しさと感動を届けて笑顔あふれる未来へ

ジョイフルのマテリアリティ



ジョイフルでは、持続可能な社会の実現への取り組みとして、大分市のフードバンク事業者「(一社)フードバンク東九州」様へ、従業員が家庭から持ち寄った食材を寄付しています。寄付した食材は、必要とされている方や福祉施設に無償で提供されます。

また、ジョイフルでは、子ども食堂事業や子ども支援活動も継続して行っております。

現代社会において人と人とのつながりが希薄になりつつある中、当社は、未来を担う子どもたちに対し、地域住民との共食の機会を提供する取り組みを行っています。この活動を通じて、子どもたちの豊かな人格形成を支援するとともに、新たな地域コミュニティの構築にも寄与しています。また、賞味期限が近づいた食材などを子ども食堂等に提供することで、フードロスの削減にもつなげています。

その他に、働きやすい職場環境づくりを推進することで、モチベーションの向上、労働生産性の向上、組織の活性化に繋がると考え、2020年から健康経営実施における目標を定め、「健康増進、生活習慣病予防対策」「メンタルヘルス対策」などを進めた結果、2021年3月より毎年「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に認定されております。

2018年に認定された「くるみん」は、子育てサポート企業としての実績が認められ、毎年認定交付をされております。継続して実施しているプラスチック製ストローの提供廃止、バイオマス材料を配合したテイクアウト用袋の導入などのサービスや事業活動を通じて、今後も環境保全と社会の発展のため、取り組みを進めてまいります。







2026 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 大規模法人部門

2024年認定 くるみん 子育てサポートしています

新店オープン　2025.7.1 ～ 2026.6.30

［国内］　JOYFULL EXPRESS アミュプラザおおいた店・並木街珈琲 大分別府店・麺屋いろどり

［台湾］　新店碧潭店・台中西屯店・台中文心店・台南大全聯店・小港漢民店・新店家樂福店・南投埔里店・大里大買家店・台中青海店・三重渓尾店・高雄光華店

連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	前連結会計年度（2025年６月30日）	当連結会計年度（2026年６月30日）
資産の部		
流動資産	6,175	7,144
固定資産	25,443	27,045
有形固定資産	20,602	21,467
無形固定資産	392	670
投資その他の資産	4,448	4,906
資産合計	31,618	34,189
負債の部		
流動負債	10,891	11,660
固定負債	8,324	6,927
負債合計	19,215	18,588
純資産の部		
株主資本	12,226	15,132
資本金	100	100
資本剰余金	4,229	4,223
利益剰余金	9,407	12,291
自己株式	△ 1,510	△ 1,482
その他の包括利益累計額	85	359
純資産合計	12,403	15,601
負債純資産合計	31,618	34,189

Point
資産の部

当連結会計年度末の総資産は34,189百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,570百万円の増加となりました。これは主に、土地の増加1,007百万円、現金及び預金の増加426百万円、機械装置及び運搬具の増加322百万円、投資有価証券の増加307百万円、無形固定資産の増加277百万円によるものであります。

Point
負債の部

当連結会計年度末の負債合計は18,588百万円となり、前連結会計年度末に比べ627百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等の増加1,563百万円、長期借入金の減少1,203百万円、未払金の減少896百万円によるものであります。

Point
純資産の部

当連結会計年度末における純資産は15,601百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,197百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加2,883百万円、その他有価証券評価差額金の増加196百万円、退職給付に係る調整累計額の増加51百万円、自己株式の増加28百万円、為替換算調整勘定の増加25百万円によるものであります。

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 自 2024年７月 １日 至 2025年６月30日	当連結会計年度 自 2025年７月 １日 至 2026年６月30日
売上高	69,551	72,726
売上原価	26,255	30,338
売上総利益	43,295	42,387
販売費及び一般管理費	40,092	37,777
営業利益	3,202	4,610
営業外収益合計	229	305
営業外費用合計	215	185
経常利益	3,216	4,730
特別損失	256	136
減損損失	250	136
法人税等	672	1,415
法人税、住民税及び事業税	147	1,733
法人税等調整額	525	△ 317
親会社株主に帰属する当期純利益	2,299	3,193

※金額は百万円未満を切捨表示しております。

Point
営業利益・経常利益

エネルギー価格や原材料価格が高騰した影響を受ける一方、売上高が増加したことにより、前期比43.9％増加の4,610百万円の利益となりました。経常利益は、営業利益が増加したことにより、4,730百万円の利益となりました。

Point
売上高

多様化する消費者ニーズに対応した商品施策の推進や、「お客様に繰り返しご利用いただける店作り」の観点から営業状態の向上に取り組んだ結果、前期比4.6％増加の72,726百万円となりました。

Point
親会社株主に帰属する当期純利益

減損損失による特別損失が発生したことにより、3,193百万円の利益となりました。

Point
営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは前期比3,191百万円増加して6,909百万円となりました。営業活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、税金等調整前当期純利益4,620百万円、減価償却費1,954百万円であります。

Point
財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは前期比1,408百万円減少して△2,854百万円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、短期借入金の純増減額△890百万円、長期借入金の返済による支出△1,510百万円、配当金の支払額△308百万円、リース債務の返済による支出△145百万円であります。

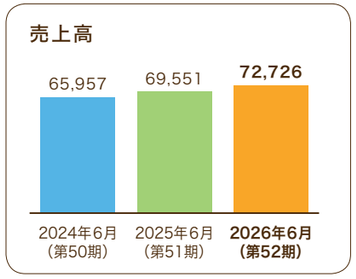
連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

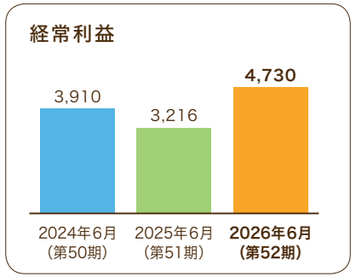
（単位：百万円）

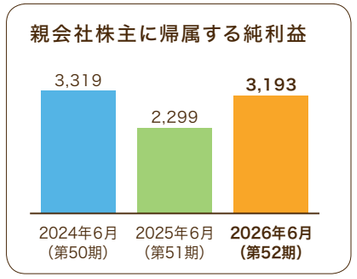
	前連結会計年度 自 2024年７月 １日 至 2025年６月30日	当連結会計年度 自 2025年７月 １日 至 2026年６月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,717	6,909
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,954	△ 3,661
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,445	△ 2,854
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 1,697	416
現金及び現金同等物の期首残高	3,476	1,779
現金及び現金同等物の期末残高	1,779	2,195

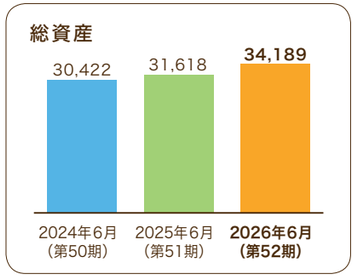
Point
投資活動によるキャッシュ・フロー

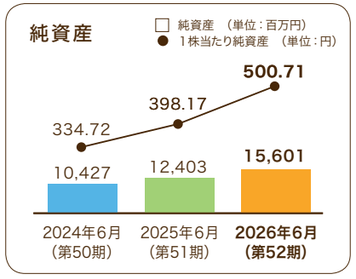
投資活動によるキャッシュ・フローは前期比293百万円増加して△3,661百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出△3,671百万円、有形及び無形固定資産の売却による収入25百万円、敷金及び保証金の差入による支出△47百万円、敷金及び保証金の回収による収入31百万円であります。

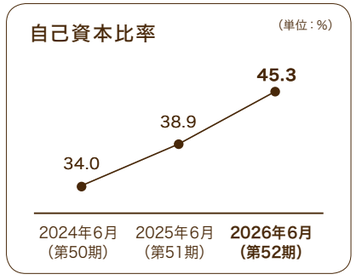












通期 （単位：百万円）

株式の状況

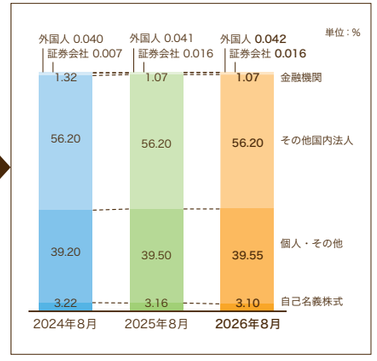
発行可能株式総数	発行済株式総数	株主数
120,000,000株	31,931,900株	18,652名

株式の所有者別状況

	2024年8月31日現在		2025年8月31日現在		2026年8月31日現在	
	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)
証券会社	9	2,405	9	5,235	8	5,129
外国人	20	13,000	20	13,300	24	13,500
金融機関	3	421,914	2	343,014	1	342,914
その他国内法人	91	17,946,464	92	17,945,964	98	17,947,664
個人・その他	16,702	12,517,329	17,756	12,613,878	18,520	12,630,925
自己名義株式	1	1,030,788	1	1,010,509	1	991,768
合　計	16,826	31,931,900	17,880	31,931,900	18,652	31,931,900

※基準日時点の株主名簿に基づき記載しております。

株式の所有者別構成比率の推移



株主メモ

事業年度　毎年7月1日から6月30日
定時株主総会　毎年11月
基準日　定時株主総会の議決権／毎年8月31日
期末配当金／毎年8月31日
中間配当金／毎年2月末（中間配当を実施する場合）
単元株式数　100株
株主名簿管理人　東京都千代田区丸の内一丁目4番1号　三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関　東京都千代田区丸の内一丁目4番1号　三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先　〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）　TEL 0120-782-031（フリーダイヤル）
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

公告の方法　電子公告の方法により行います。但し、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL　http://www.joyfull.co.jp/
上場取引所　福岡証券取引所

◎**住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について**
株主様の口座がある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行㈱にお申し出ください。

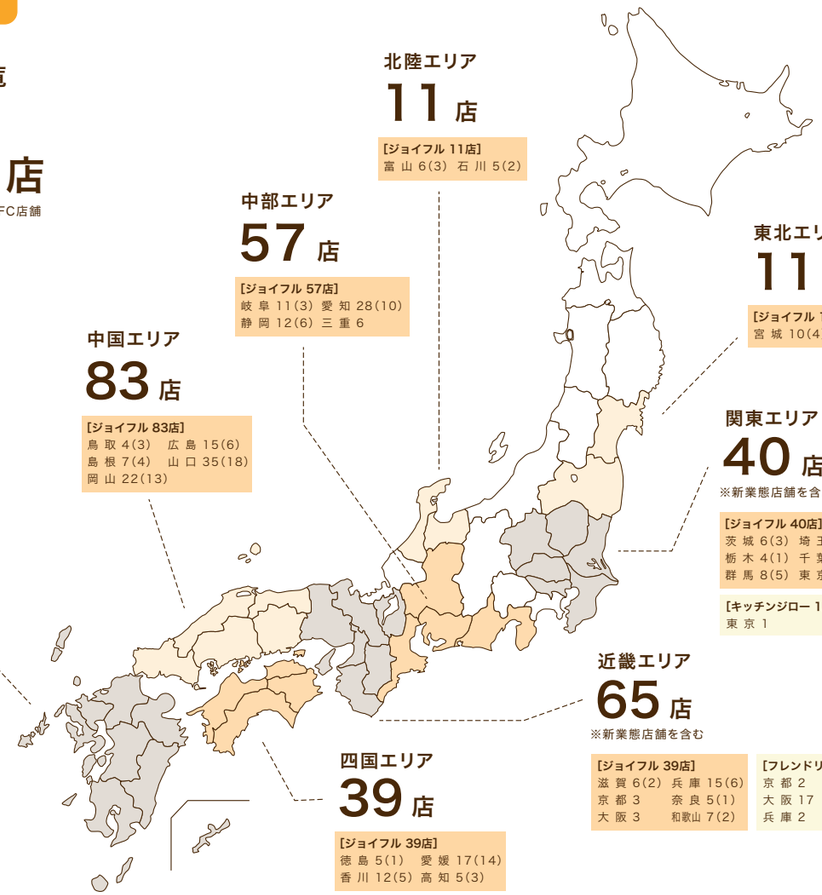
◎**株主総会資料の電子提供制度（書面交付請求）についてのお問い合わせ**
お取引の証券会社または三井住友信託銀行㈱へお問い合わせ願います。
専用コールセンター　0120-533-600　受付時間：9:00～17:00
（土・日・祝日および12/31～1/3を除く）

グループ店舗一覧

（2026年6月末現在）

671店

うちFC店舗283店舗　※（ ）内はFC店舗
※新業態・台湾含む



北陸エリア　11店
[ジョイフル 11店]
富山 6(3)　石川 5(2)

中部エリア　57店
[ジョイフル 57店]
岐阜 11(3)　愛知 28(10)
静岡 12(6)　三重 6

東北エリア　11店
[ジョイフル 11店]
宮城 10(4)　福島 1

九州・沖縄エリア　332店
※新業態店舗を含む
[ジョイフル 328店]
福岡 96(40)　大分 48(25)
佐賀 22(13)　宮崎 36(13)
長崎 20(19)　鹿児島 52(27)
熊本 45(20)　沖縄 7(7)
[喜楽や 2店]
大分 2
[並木街珈琲 4店]
福岡 1　大分 3
[麺屋いろどり 1店]
大分 1

中国エリア　83店
[ジョイフル 83店]
鳥取 4(3)　広島 15(6)
島根 7(4)　山口 35(18)
岡山 22(13)

関東エリア　40店
※新業態店舗を含む
[ジョイフル 40店]
茨城 6(3)　埼玉 11(1)
栃木 4(1)　千葉 7(2)
群馬 8(5)　東京 3(1)
[キッチンジロー 1店]
東京 1

台湾　33店

近畿エリア　65店
※新業態店舗を含む
[ジョイフル 39店]
滋賀 6(2)　兵庫 15(6)
京都 3　奈良 5(1)
大阪 3　和歌山 7(2)
[フレンドリー 26店]
京都 2　奈良 2
大阪 17　和歌山 3
兵庫 2

四国エリア　39店
[ジョイフル 39店]
徳島 5(1)　愛媛 17(14)
香川 12(5)　高知 5(3)

会社概要（2026年6月30日現在）

創　　業　1965年6月　　資　本　金　1億円
創　　立　1976年5月　　主な事業内容　「ファミリーレストランジョイフル」のチェーン展開

社　　名　株式会社ジョイフル
本　　社　大分県大分市三川新町1丁目1番45号
福岡工場・配送センター　福岡県築上郡築上町日奈古186番1号
熊本工場・配送センター　熊本県菊池市袈裟尾字下大迫445番4号
愛知工場　愛知県豊川市御津町佐脇浜三号地1番17号

（連結子会社）
株式会社ジョイフル北日本/株式会社ジョイフル東海/株式会社ジョイフル関西/株式会社ジョイフル中国/株式会社ジョイフル四国/株式会社ジョイフル北九州/株式会社ジョイフル中九州/株式会社ジョイフル東九州/株式会社ジョイフル西九州/株式会社ジョイフル南九州/株式会社フレンドリー/台灣珍有福餐飲股份有限公司/株式会社ジョイフルサービス/株式会社ジョイナス/株式会社ジョイフル商事